

精神保健福祉士

心の病がある方の生活や就労を支援するソーシャルワーカー

資格登録者数

103,876人

(令和5年10月末現在)

今、求められている人材とは



社会福祉学科 教授
三城 大介

精神保健福祉領域における課題は、心に変調をきたした方への受療支援や生活支援にとどまらず、予防や健康の維持増進まで求められています。

そのため、精神保健福祉対象領域は医療機関や福祉事業所のみならず、生活全般に拡大され、企業内でのメンタルヘルスの維持も対象とされています。そして、その一端を担うことが精神保健福祉士に求められています。

入学後は、精神保健福祉領域に限定せず、幅広く心理学や社会学、地域と臨床など隣接する学問領域や関連する領域を俯瞰的に学ぶ姿勢を意識してください。

社会という臨床の場に立つ皆さんとだからその学びを深めていただきたいと願っています。

精神保健福祉士の魅力

精神保健福祉士が対象とするメンタルヘルスの課題は、自殺やひきこもり、発達障害、ヤングケアラー、セルフネグレクト(支援を求めない者)など、対象や課題が多様化・複雑化しています。それらの課題によって生活の継続に困難をきたした方々に対し、多職種・多機関と連携・協働しながら課題の解決を図るところに、精神保健福祉士の専門性があります。

また、生活のしづらさを抱える方々に寄り添い、生活をより良くしていくためにかかわっていき、支援者自身もともに成長するところに、その魅力があると言えます。

精神保健福祉士の活躍の場

- 医療機関**：精神科病院、精神科診療所など
(医療相談室などで主治医や看護師、臨床心理士などとの連携・調整)
- 地域の施設**：障害福祉サービス事業所など
(日常生活訓練・就労支援など)
- 司法施設**：保護観察所など
(社会復帰調整官・保護観察官)
- 教育機関**：スクールソーシャルワーカーなど
(学校や家庭、児童相談所、行政機関などとの連携・調整)
- 企業**：従業員のメンタルヘルス支援部署など
(相談や予防などのサポート)

精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム

厚生労働省においては、2025年(令和7年)を目途に、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していきます。

これは、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制(地域包括ケアシステム)の構築を推進しているものです。

地域包括ケアシステムは、市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことを求められていますが、このシステムの専門職連携にも精神保健福祉士への期待が高まっています。

国家試験受験資格取得の要件

大学で精神保健福祉士の国家試験受験資格を取得するためには、指定科目を単位修得(履修)して、卒業することが要件となります。

また、国家試験は、最短で在籍中の卒業年度に卒業見込で受験することができますが、受験年度に指定科目の単位修得および卒業要件を満たすことが、合格が認められる条件です。

※入学前に指定施設で1年以上の相談援助の実務経験がある方は、実習免除の申請が可能です(詳細は、「募集要項」参照)。

演習・実習指導・実習

① 精神保健福祉演習・精神保健福祉実習指導

(履修方法：SR 仙台会場のみ)

専門的価値を基盤にした「かかわり」や、具体的事例を通じて理論や概念を実践に適用する意義を学びます。

② 精神保健福祉実習

(受講定員 40 名程度)

福祉施設・医療機関それぞれの実践場面での「かかわり」を通して、知識・技術・価値を実践的に理解します。

各年次の中心となる学習

4 年次

演習・実習指導スクーリング、
実習Ⅱ(医療)、国家試験対策

3 年次

演習・実習指導スクーリング、
実習Ⅰ(福祉)

2 年次

演習スクーリング、実習選考試験

1 年次

共通基礎科目・指定科目の単位修得

※実習受講を希望する方は、インターネット配信による「精神保健福祉士実習ガイダンス」を受講し、ガイダンスの内容にご納得いただいた上で、出願書類をご提出いただく必要があります。また、「精神保健福祉実習Ⅰ」受講前年度に実習選考試験を実施します。そのため、希望者全員が実習を受講できるわけではありません。

学びを通して、
どのような力を身につけて
ほしいか

演習・実習指導では、将来精神保健福祉士として様々なフィールドにおいて、クライアントとその家族に寄り添いながら支援に携わり、専門職として自身も成長し続けるための基礎となる、「いかにより良く学ぶか」という「学びの所作」を身に付けていただきます。

また、演習・実習指導は、臨床現場の関係者ならびに実習指導者から、より深く充実した学びを得るための準備段階に位置付けられます。そのため、個々人それぞれが、主体的・積極的に「学びの実践」に取り組まれることを希望いたします。

社会福祉学科
講師

小野 芳秀



本学独自の国家試験対策講義



本学養成課程では、オンラインによる同時双方向＋動画配信を中心に受験対策を開講しています。また、国家試験専用掲示板では、学生同士の結びつきを強めるとともに、教職員からの情報発信も確認できるため、孤独になりがちな受験勉強をサポートしながら、学生・教職員一丸となって合格を目指しています。

学費の目安(卒業までの総費用)

● 1 年次入学

実習受講者 91 万円

実習免除者 77 万 9 千円

● 3 年次編入学

実習受講者 64 万 5 千円

実習免除者 41 万 4 千円

卒業までの最少年数

実習受講者：3 年

実習免除者：2 年

国家試験
受験対策講座
受講者の合格率

83.3%
(2022 年度)

※詳細は、『募集要項』を参照ください。

